

(平成22年8月分)

部 門	市況の概要
野 菜	8月期の野菜の入荷状況は、果菜類の入荷については、順調であったものの、根菜類、土物類、葉菜類の多くの品目で生育期の天候不順や高温等の影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を4%下回った。 価格は、入荷減となった品目を中心に単価高となったが、入荷が順調であった果菜類で、単価安となったほか、前年著しい単価高であった土物類では、入荷減ながら単価安となった。野菜全体としては、前年並みとなった。 品目別には、ピーマンが入荷増の単価高、キャベツ、きゅうり、ナスが入荷増の単価安、西洋にんじん、はくさい、ほうれんそうが入荷減の単価高、長大根、ばれいしょ、玉葱が入荷減の単価安、トマト、レタスが入荷前年並みの単価前年並みとなった。 根菜類は、入荷が13%減少し、価格は3%高となった。 葉菜類は、入荷が前年並みで、価格は3%高となった。 果菜類は、入荷が4%増加し、価格は4%安となった。 土物類は、入荷が15%減少し、価格は10%安となった。
果 実	8月期の果実の入荷状況は、前年入荷の少なかった桃類、メロン類では入荷増となったが、柑橘類、りんご類、梨類、ぶどう類、スイカ類の多くの品目で生育期の天候不順や高温等の影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を16%下回った。 価格は、入荷減により、多くの品目で単価高となり果実全体で前年同期を18%上回った。 品目別には、桃が入荷増の単価高、デラウェアが入荷増の単価安、津軽りんご、幸水梨、大玉スイカが入荷減の単価高、ハウスみかん、アールスメロンが入荷減の単価安となった。 柑橘類は、入荷が22%減少し、価格は7%安となった。 りんご類は、入荷が40%減少、価格は25%高となった。 梨類は、入荷が50%減少し、価格は39%高となった。 桃類は、入荷が5%増加し、価格は8%高となった。 ぶどう類は、入荷が前年並みで、価格も前年並みとなった。 メロン類は、入荷が26%増加し、価格は13%安となった。 スイカ類は、入荷が11%減少し、価格は56%高となった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長大根 西洋人参	北海道を中心に、兵庫県、青森県、岩手県、福岡県からの入荷。 主力の青森県産で、高温、干ばつの影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を10%下回った。 価格は、各産地ともに高温等の影響により品質が悪く、前年同期を8%下回った。 北海道を中心に、中国、オーストラリアからの入荷。 主力の北海道産で、高温、干ばつの影響により作柄が悪く入荷減となった。中国産、オーストラリア産の入荷は、前年を大きく上回ったものの全体の入荷量は、前年同期を19%下回った。 価格は、全国的な品薄状態から前年同期を29%上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	長野県を中心に、北海道、群馬県からの入荷。 各産地ともに、高温、干ばつの影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を6%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を6%上回った。 群馬県を中心に、長野県、北海道からの入荷。 各産地とも高温、干ばつの影響により、作柄が悪かったものの、中央集散機能の発揮により入荷量は、前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を7%下回った。 岐阜県を中心に、北海道、茨城県、長野県からの入荷。 各産地ともに、高温、干ばつの影響により作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を24%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を6%上回った。 長野県を中心に、北海道からの入荷。 各産地とも高温、干ばつの影響により、作柄が悪かったものの、中央集散機能の発揮により入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、前年同期並みとなった。

【果菜類】	
きゅうり	福島県を中心に、京都府、愛媛県、奈良県、和歌山県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により生育が遅れていたが、梅雨明け以降の好天により生育が回復し、前月に引き続き順調な入荷となった。入荷量は、前年同期を3%上回った。 価格は、入荷増と前年単価高であったことから前年を16%下回った。
なす	京都府を中心に、徳島県、奈良県、和歌山県、岐阜県からの入荷。 各産地とも生育期の天候不順により生育が遅れていたが、梅雨明け以降の好天により生育が回復し、前月に引き続き順調な入荷となった。入荷量は、前年同期を11%上回った。 価格は、入荷増と前年単価高であったことから前年を16%下回った。
トマト	北海道を中心に、岐阜県、茨城県、京都府、青森県からの入荷。 京都府産で、高温の影響により小玉傾向での入荷となったものの、岐阜県産、茨城県産の入荷が順調であったことから、全体の入荷量は、前年同期並みであった。 価格は、前年同期並みであった。
ピーマン	大分県を中心に、兵庫県、茨城県、福島県からの入荷。 主力の大分県産は、生育期の天候不順の影響から入荷減となったものの、兵庫県産、茨城県産、福島県産の入荷は、順調であったことから全体の入荷量は、前年同期を8%上回った。 価格は、入荷増ながら、量販店等の堅調な需要により前年同期を4%上回った。
【土物類】	
ばれいしょ (メイク含む)	北海道を中心に、青森県、茨城県、千葉県、京都府からの入荷。 主力の北海道産、青森県産で、生育期の長雨とその後の高温により作柄が悪く、全体の入荷量は前年同期を16%下回った。 価格は、入荷減ながら、小玉傾向の入荷であったことと前年著しい単価高であったことから前年同期を23%下回った。
たまねぎ	兵庫県を中心に、北海道、京都府、中国、佐賀県からの入荷。 主力の兵庫県産、北海道産で、生育期の長雨とその後の高温により作柄が悪く、全体の入荷量は前年同期を15%下回った。 価格は、入荷減ながら、小玉傾向の入荷であったことと前年著しい単価高であったことから前年同期を25%下回った。

【その他野菜】 生しいたけ	徳島県を中心に、広島県、和歌山県、岡山県、北海道からの入荷。 各産地ともに、高温の影響により発生が少なかったものの、本市場での北海道産の取扱量の増加により、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、需要の低迷により、前年同期を１６％下回った。
--------------------------	---

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	佐賀県を中心に、長崎県、和歌山県、宮崎県、愛媛県からの入荷。各産地とも高温の影響により、作柄が悪く入荷量は、前年同期を17%下回った。 価格は、入荷減ながら、品質が悪く前年同期を7%下回った。
津軽 （サン含む）	長野県を中心に、山形県からの入荷。 主力の長野県では、生育期の天候不順と高温の影響により、作柄が悪く、全体の入荷量は、前年同期を51%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を34%上回った。
幸水梨	長野県、佐賀県を中心に、徳島県、富山県、滋賀県からの入荷。各産地とも生育期の天候不順の影響により、着果不足となり入荷量は、前年同期を48%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を40%上回った。
桃	山梨県を中心に、山梨県、福島県、山形県、和歌山県からの入荷。 各産地ともに、生育期の天候不順と高温の影響により、入荷が遅れたが、前年の入荷量が少なかったことから入荷量は、前年同期を5%上回った。 価格は、入荷減ながら、大玉傾向であったことから前年同期を7%上回った。
デラウェア	山梨県を中心に、山形県、大阪府、長野県からの入荷。 天候不順により入荷の遅れていた山梨県産の入荷が本月にずれ込んだことから、全体の入荷量は、前年同期を20%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を4%下回った。
アールスメロン	茨城県、静岡県を中心に、愛知県、京都府からの入荷。 例年、本月の入荷の多い愛知県で作付面積が減少しており、全体の入荷量は前年同期を5%下回った。 価格は、入荷減ながら需要の低迷により前年同期を4%下回った。
大玉スイカ	山形県、長野県を中心に、石川県、秋田県からの入荷。 各産地とも高温の影響により、日焼けの発生など作柄が悪く、入荷量は、前年同期を11%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を56%上回った。